

## 平成23年度各会計決算審査

### 村井 寿行

河川防護柵設置事業費について、ヤンケシ2号橋沿いに鉄パイプで仮の防護柵が作られたが、正規防護柵設置の考えについてたまただした。上鷺別川の工事が5年事業のため、工事終了後を予定としているが、国の助成金などがあった場合は速やかに取り組んでいくと答弁があった。

### 木村 俊子

妊婦健康診査の受診率と、乳幼児家庭訪問の内容や虐待の有無について。  
 答 予定日より早く出産する場合もあるため、妊婦健康診査の利用率は77%。家庭訪問ではアンケートや相談を行い、子どもの発達・発育、母親の健康管理を促す。乳幼児健康診査では虐待は見受けられなかったと認識している。

### 上村 幸雄

登別市シルバー人材センター会員への防災保険適用の考え方について。  
 答 全国的にもシルバー人材センター会員の事故に対する保険適用の件が問題になってきているが、今後は厚生労働省の判断を踏まえて、シルバー人材センターに対して安全指導を徹底していきたい。

### 米田 登美子

市内にある公園の管理について、市内の公園に植えられている樹木などは、どのような基準・配慮の下、安全な管理が図られているのか。  
 答 植樹などに関して地域住民の意見も考慮しつつ実施している。今後はアレルギー保有者に対する配慮などについて検討したい。

### 天神林 美彦

子育て支援事業（ひろば型）は、スタート時点から好評であり、今後は各地区への設置を要望していた。  
 行政側も積極的に検討する考えを示していたが、平成24年度における増設がなかったことから、引き続き平成25年度に向けての再検討を強く要請した。

### 松山 哲男

歳出では、市職員の資質向上の研修や、市民自治推進委員会のあり方、企業誘致の取り組み、学校内でのいじめなどの防止策をただした。歳入では、使用料・手数料算定根拠の明確性や、財源難と老朽化する集会施設、受益者負担の原則などから減額・免除団体の適用範囲と使用料、今後の財源確保の考えなどをただした。

### 鈴木 広之

児童生徒スポーツ振興助成金に関して、助成金の金額設定の根拠、助成金の増額や助成内容の変更について。  
 答 現行は幅広い助成金の支援を行っている内容なので、現行の助成内容を継続したい。

### 佐々木 久美子

登別保育所運営管理業務委託料について、保育の充実やコスト面での合理化が図られていることから、「学校法人登別立正学園」への委託を継続とあるが、コスト面での合理化とは。  
 答 市直営と民間委託の運営費を比較した場合、約2割の人員費の減額が図られている。

### 渡辺 勉

不登校・いじめ等対策経費について、いじめが社会問題となっているが、いじめ相談で年間6件しか利用されていないということは、相談の開設時間に利用しづらさがあるのではないかと指摘。次年度に向けて、土日開設や夜間開設をするなどの工夫が必要であると提案した。

## 平成24年度北海道市議会議長会 道南支部議員研修会が開催されました

平成24年度北海道市議会議長会道南支部議員研修会が、10月4日に苫小牧グランドホテルニュー王子で開催されました。

この研修会には、当市議会のほか、函館市、北斗市、苫小牧市、室蘭市、伊達市の各市議会議員と事務局職員合わせて130名が参加しました。

研修会では、「地方議会の新たな課題～議会改革と活性化～」と題して、元全国都道府県議会議長会議事調査部長の野村稔のむらみのるさんを講師に招き、議会改革の必要性や進め方、議会や議員の役割、議員の位置づけと処遇、議員のあるべき姿などについての講演が行われ、専門的知見と積み重ねたキャリア、またそのお人柄が語らせる言葉一つ一つに多くを学びました。

研修会終了後は、各市議会の議員が情報交換を行い、交流と親ばくを深めました。平成25年度の研修会は当市で開催される予定ですので、登別の魅力もしっかりアピールしていきます。

